



Tanabe East Rotary Club in 2017-18

2017-18年度RI会長: イアン H.S. ライスリー
 第2640地区ガバナー: 岡本 浩
 田辺東ロータリークラブ
 創立: 昭和49年5月15日
 会長: 木村 壽一
 幹事: 片井 貢



ロータリー:
変化をもたらす

例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 http://tanabe-east-rc.com/
 E-mail info@tanabe-east-rc.com
 例会: 毎週水曜日 12:30~
 ビジターフィー ¥2,000

○会長報告 会長 木村 壽一



■12月10日(日) ルミエール華月殿に於いて、「クラブ情報規定委員長会議」が開催されました。クラブ奉仕A委員会 ロータリー情報担当 坂本正人君に出席していただきました。ご苦労様でした。

■本日の例会終了後、定例理事会を開催致します。理事・役員の方はお残りください。

■本日は、和づち(湯川和洋君)の鰻弁当となっております。

■本日のお客様は、TETAU(てたう)代表であり、グラフィックデザイナーの丸山 健(まるやま けん)様です。後ほど宜しくお願い致します。

○幹事報告 幹事 片井 貢



■回覧

- ◎「よねやまハイライト213号」
- ◎「英語版ロータリアン12月号」
- ◎一般財団法人 比国育英会バギオ基金より
「2016年度事業報告書の送付と基金へのご寄付のお願い」 「2016年度事業報告書」
- ◎一般社団法人ロータリーの友事務所
「2016-17年度一般社団法人ロータリーの友事務所事業報告」
- ◎岡本ガバナー事務所より
「御礼 米山奨学生の紀南研修旅行 懇親会」
「2017-2018年度 海外研修報告会のご案内」

■連絡

- ◎後期会費納入案内を各自トレイに入れております。宜しくお願い致します。
- ◎次週12月20日(水)午後6時~ 割烹あしべ本店様に於いて、前期最終例会を開催いたします。皆様、ご出席よろしくお願い致します。
- ◎ガバナー事務所冬季休暇のお知らせ
2017年12月28日(木)~2018年1月5日(金)

■例会日時変更

- ◎那智勝浦RC 12月28日(木) → 休会
2018年1月 4日(木) → 休会
1月11日(木) → 1月11日(木)
11:40~ 熊野那智大社参拝
12:30~ 例会 場所: ホテルなぎさや
- ◎和歌山中RC 2018年1月 5日(金) → 休会
- ◎和歌山北RC 2018年1月 1日(月・祝日) → 休会
1月 8日(月) → 休会
1月15日(月) → 1月 9日(火)12:30~
場所: ルミエール華月殿6F <新年初例会・神事>

■メークアップ

- ◎12月10日(日)クラブ情報規定委員長会議 坂本正人君

○本日の唱歌

「ジングルベル」

唱歌委員 湯川 和洋 君



〇ゲスト・ピジター

T E T A U (てたう)代表

グラフィックデザイナー 丸山 健(まるやま けん) 様



〇出席報告

会員数 46名 義務免除 5名 本日の欠席者 10名
本日出席率 76.19% 11月29日の修正出席率 92.68%

〇にこにこ報告

(敬称略)

◇本日のゲスト、丸山様をお迎えして

上原 俊宏、岡本 博、片井 貢、木村 壽一

後藤 信博、竹中 悟、竹村 英一、野村 憲司

本田 耕二、丸山 博之(2倍頂きました)、森本 修至

山本 亘

◇良き飲み友達のけんちゃん、今日は、宜しくお願
いします。 岩崎 泰人

◇うなぎ、いつもありがとうございます。丸山さん、
お話し楽しみにしています。 湯川 和洋

◇谷中さん、第九すばらしかった。感動しました。僕
の席の横が空いていました。きっと、吉本さんだと
思います。ご苦労さんでした。 佐田 一三

◇息子が結婚しました。

武田 静也(多額頂きました)

◇12月19日(火)の夜10:00よりNHK教育テレビにて
"南方熊楠"が放映されますので、興味のある方は
必見ですよ。 吉田 和枝

◇武田さん、先週、かばんを拾ってくれてありがとう
ございました。ご恩は、一生わすれません。

吉本 正美

◇奥様誕生日

早稲田 清司

◇お花いただきます。

中嶋 伸和

〇本日のプログラム

「地域づくり」なんて全く興味がなかった僕が
地域のことを「てたう」理由
~地域とともに事業をつくる~

TETAU有限責任事業組合
代表理事 丸山 健 様



私たちが暮らす田辺には、世界遺産「熊野古道」を
はじめとする多くの地域資源に恵まれています。その
一方で、少子高齢化に伴い、空き家や空き店舗が増加、
地域の担い手不足などの地域課題を抱えています。特
に田辺市は全国平均より早いスピードで人口減少が進
むと予測されています。人口が減れば、市場は縮小し、
事業規模も小さくなったり、事業者数が減ることは避
けることはできません。これからもこの地域で商いを

続けて行く企業や事業者には死活問題です。「地方創
生」の政策も推進強化されるなか、このような「地域
の課題」に企業や事業者が取り組むことが今求められ
ています。私たちもこの地域で事業を続けていくため
には、社会の課題も同時に解決しなければならなくな
りました。しかし事業課題を解決するだけでも簡単で
はない上に、社会課題の解決の両立を図ろうとした時、
それはさらに複雑な課題となります。

そこで私たちは、「事業の営利活動」と「地域課題
の解決」に共通項を探し出し、本業(クリエイティブ・
デザイン)を生かしてできるビジネスモデルの創出と、
同じようにビジネスで地域課題に取り組みたい事業者
さんの支援を目的にTETAU有限責任事業組合(以下TETA
U)を創設しました。

TETAUは、デザイナーやカメラマンなどのクリエイター
と呼ばれる職業の個人事業主が集まりです。

四つのテスト: 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

私たちの主な仕事は「印刷物」や「webサイト」を作ることが中心です。それに加えてマーケティング調査・プロモーション・ブランディングに関わる様々なことを行なっています。つまり私たちの名前の通り「事業者さんの支援（てたう）」が私たちの仕事です。そのため、これまでの専門家（デザイナー）だけで作り出すデザインではなく、地域の様々な知見を持つ人と協働して新たな価値を創造していきます。

TETAUが地域の人と協働して行くためには、当然ながらまず地域の人たちと繋がる必要があります。私たちは地域の人と繋がるために、現在は3つの事業を行なっています。

1つは地域フリーペーパーの発行。
地域フリーペーパーでは広告主の意向を多く取り入れる必要がありますが、広告主にも新たな視点を提案することで、地域の課題や資源に目を向けてもらえるような紙面づくりを行なっています。

1つはwebマガジンの運営。
地域だけでなく、地域外の人たちにも紀南の情報を伝えられるようなwebマガジンに育てていこうとしています。

そして最後の1つがフューチャーセッション。
フューチャーセッションとは、様々な属性の人たちが集まり、同じテーマについて話をし、課題解決のための活動を生み出していく対話のことです。

月に1回、開催し、市民の方と一緒に考える場づくりを行なっています。

それらの事業で地域の方々と繋がり、事業者の支援の活動に繋がっています。

一例として挙げますと、現在進行中のプロジェクトに堀忠商店の日本酒プロジェクトがあります。
お酒の卸業を営む堀忠商店さんが、地域ブランドの創出の事業として株式会社たがみさんと協働して新しいお酒を作ることに挑んでいます。

そのプロジェクトの一部を市民参加型プロジェクトとして行なってきました。

一つは熊野古道ツアー。
「熊野」ブランドでの展開を想定して、まずは熊野古道を皆で知る、体験することから始めました。
市民の方の反応を確認することができますし、このツアー自体が宣伝となっています。

実際にFacebookのみでの告知ですが、総リーチ数

（投稿を見ていただいた数）は16,899。もっとも多い投稿では4600人以上が閲覧してくれています。

もう一つのツアーとして「城下町田辺歴史探訪」を開催。今度は「田辺」ブランドでの展開を想定して、ガイドさんに旧市街地を案内してもらいながら、歴史を元にお酒のブランディングを体験してもらうツアーです。この回ではグループに別れていただき、それぞれにアイデアを出して最後にキャッチフレーズとネーミング案を発表してもらいました。

これらのツアーを開催した効果として、

- ・楽しんで参加、体験していただくことでコアなファンとなっただきやすい
- ・地域のビジネスをみんなで盛り上げようという気運が高まる
- ・地域資源や地域課題を知るきっかけになる

など想像以上の効果がありました。

私たちの仕事は「印刷物やwebサイトを作ること」ですが、そのデザインの過程や視点を変えることで、よりその効果を高めつつ、同時に地域に刺激を与えていくことができます。

私たちはこのように、様々な事業をこれまでとは別の切り口で、「地域と繋がりながらデザインすること」を目指します。それは地域課題の解決や地域資源の活用をしながら事業を行う「CSV」的な発想の事業の創出です。

田辺市主催の「たなべ未来創造塾」の運営サポートもしています。
この塾でもビジネスイノベーターを生み出す活動を行なっています。

この活動を中心として、それを支える他の事業とともに、私たちは地域とともに事業をつくり続けたいと思います。



紀南good×クリエイティブ

TETAU